

岩波駅周辺地区 まちづくりニュース

裾野市 建設部 ウーブン・シティ周辺整備課

[電話] 055-994-9010

事業については裾野市公式ウェブサイトをご覧ください

岩波駅周辺地区



[配布先] 深良、富岡、須山地区

●令和4年度 第2回ワークショップ（5月22日開催）の結果概要

5月22日（日）に、令和4年度 第2回目となるワークショップを開催しました。今回は、黄瀬川沿いの緑地公園について、“市民が大事にしたい”をテーマに、「使い方」について意見交換を行った後、実際に「施設の間取り」を図面に描き、オリジナルの「公園の愛称」を考えていただきました。



✓ 緑地公園の使い方を考える上での注意

- ・黄瀬川はそのままの形で残す
- ・岩波～ウーブン・シティ間に橋が架かる（形状は自由）

① 計画地の現状イメージ

はじめに、各班に黄瀬川周辺の現状写真を見ていただき、感じたことを意見交換していただきました。

計画地の現状に対する感想

- ・緑が豊か
- ・草が生い茂っている
- ・整備されていない
- ・きれいにしたい
- ・川で遊びたい
- ・楽しくする可能性がある



▲意見交換の様子

② 緑地公園の使い方（市民が大事にしたい公園にするために）

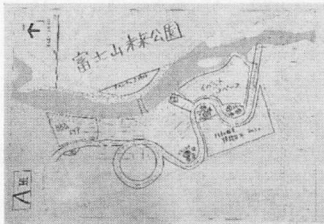
◆参加者のみなさんのご意見のまとめ

使い方	具体例
景色が楽しめる	富士山が見える展望台・撮影スポット、花壇 等
ゆっくりできる	休憩スペース、カフェ、ハンモック 等
遊び・運動ができる（黄瀬川・水）	川遊び・水遊び、釣り、ウォータースポーツ 等
遊び・運動ができる（緑地）	ウォーキング、ランニング、遊具、スポーツ（サッカー、スケートボード等）、BBQ・キャンプ 等
イベントができる	キッチンカー、マルシェ、野外コンサート 等
交流ができる	多世代が交流できるスペース、ワーキングスペース 等

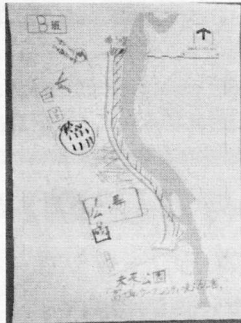
③ 緑地公園の施設の間取り・愛称

「②緑地公園の使い方（市民が大事にしたいくなる公園にするために）」を考えた上で、緑地の大きさに考慮しながら、実際に「施設の間取り」を描き、オリジナルの「公園の愛称」を考えていただきました。

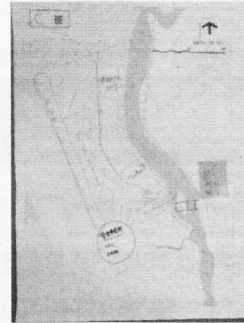
◆参加者のみなさんのご意見



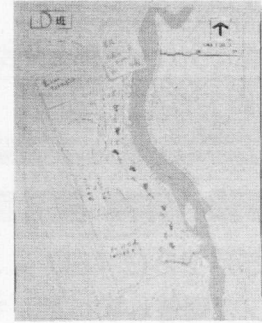
A班
「富士山未来公園」



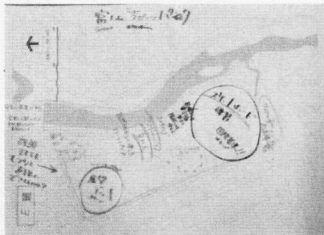
B班
「未来公園“富士山とウーブン・シティの見える公園”」



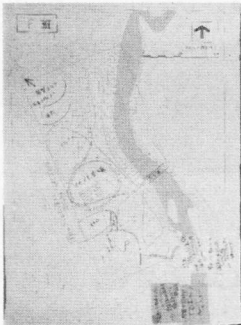
C班
「岩波ふれあいせせらぎパーク」



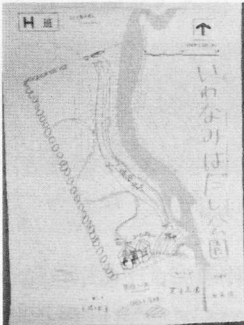
D班
「岩波 お花のカーペット公園」



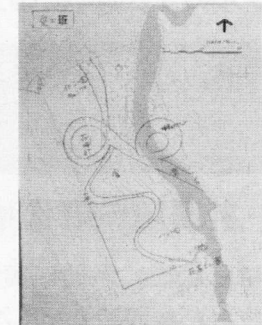
E班
「富士山ニュースポーツパーク」



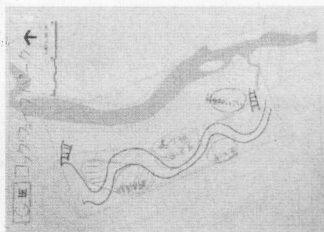
F班
「 - 」



H班
「いわなみはだし公園」



I班
「花富士公園」



G班
「ロックウェイブパーク」



ワークショップの感想

- ◆夢が膨らむワークショップで良かったです。
- ◆自然をコンセプトにする班が多く、大切にしたい点は変わらない、と感じました。
- ◆思っていたよりも広くないなと悩みましたが、それがかえって盛り上がるポイントでした。
- ◆自治体に管理を任せるのではなく、皆で守り、より良い公園にできると良いと思いました。

いわなみ 情報

岩波駅を出て西側に向かうと、存在感のある岩盤が印象的な黄瀬川が現れます。この黄瀬川の岩盤は、約1万年前の富士山の噴火により、黄瀬川を流れた大量の溶岩が堆積したものです。この凜とした景色は、見た人に感銘を与えるとともに、地域の方々の誇りにもなっているのではないのでしょうか。

